

# 第1号議案 平成24年度事業報告（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

## 事業概要

平成24年度は八王子市民活動協議会（以下：協議会）が八王子市から指定管理者として10年間の契約で八王子市市民活動支援センター（以下：支援センター）の管理運営を指定された2年目の年度でした。八王子市の指導の下、支援センターの着実な運営に努力してまいりました。

年度を通じて支援センター長の指揮下で全スタッフが協力し、市民活動団体への各種支援、市民への相談窓口としての任務を果たしてきました。同時に協議会理事による支援センター業務への支援、また、支援センターサイドからの市民活動協議会の各種イベントへの支援等相互のコラボレーションは活発に行われ、満足のいく連携の成果を上げております。定期的に行われる協議会と支援センターとの「企画運営会議」は業務報告と併せて主要行事に関する意見交換等が行われ相互協力を果たす場として大きな役割を果たしてきました。各専門部の活動はいずれも順調に実績を上げています。支援センターへ移管して3年目となったファンド事業も順調に推移しています。

一方、八王子市民活動協議会の独自事業としては、理事を中心に各部会がそれぞれ独自の事業活動を展開してきました。継続事業としての、いちょう祭りでの「わくわく広場」の活動、国立東京高等専門学校の「サイエンスフェスタ」への協力参加は、多くの会員団体、協力団体、個人会員等の支援を得て主催者からも高い評価を得た活動となりました。

特筆すべきは、24年度が当協議会の創立10周年に当たり、記念事業として二つの大きな事業を行ったことです。一つは10年史編集委員会を立ち上げ、記念誌「10年の歩み」を刊行したこと、もう一つは1月恒例の新年会員交流会と併せて「10周年記念パーティー」を開催したことです。記念パーティーには八王子市長をはじめ、地元選出の衆議院議員、都議会議員、市議会議員の方々をはじめ、近隣諸都市から行政関係者や支援センター関係者が見学に来られました。年末には大学セミナーハウスで一泊の理事研修会も行ない、協議会の基本的事項等について理事各位の意見交換と、具体化に向けての討議を行いました。

地域に根ざした活動としての「井戸端会議」は諸般の事情で開催できませんでしたが、地域フォーラムとして八王子市子ども家庭支援センターが主催した「子供支援ネットワーク」（25年2月開催）には共催団体として参画しました。

政策研究部では、「長期（10ヵ年）構想」をベースに中期計画の策定に向けた準備を進めてきましたが十分な成果には至りませんでした。とりわけ、23年6月に改正されたNPO法の改正と新寄付税制に基づく、認定NPOの仮取得申請は東京都の認可を得られず、25年度への大きな課題となりました。今年度の政策研究部の成果は絆グループによる「正会員団体交流パーティー」でした。会員相互の絆を深め、いろいろな機会を通じて団体間の相乗効果を発揮して頂こうという趣旨のこのパーティーは西武信用金庫の会場で行なわれ大変好評で、是非継続してほしいとの声が多く寄せられました。

次に、第三の事業ともいえるべき連携事業ですが、平成20年度の第8回から従来の協議会独自事業形態を改め、主体団体としての協議会に八王子市市民活動推進部協働推進課（以下：協働推進課）および一般市民有志の方や協賛団体を含めた実行委員会方式で運営している「お父さんお帰りなさいパーティー（略称：オトパ）」があります。第12回を迎えた「オトパ」は例年どおり盛況で、近隣諸都市からも見学者が多数参加されました。

また、日経新聞をはじめ、多くのマスコミからも記事として取り上げられました。八王子テレメディアでの放映もありました（ネットワーク推進部担当）。

23年度から受託した東京都の新しい公共支援事業である「八王子 NPO パワーアップ事業」は主体団体としての協議会と八王子市・協働推進課、八王子子ども劇場、著作権推進会議、八王子生涯学習コーディネーター会の5団体による実行委員会方式で運営してきましたが、東京都の助成金最終年度となった平成24年度は、第3回を迎えた「NPO 八王子会議」と「NPO パワーアップ講座」の二本立てで企画し成功裏に終了することが出来ました。八王子会議、パワーアップ講座とも参加者や講座受講者からは大変好評をいただきました。1月に行われた東京都の中間報告会（国分寺労政会館にて）で発表団体に選ばれて報告しました。5月9日（木）には東京都からのヒヤリング調査が組まれています（特別プロジェクト担当）。

## [1] 支援センター活動（協議会の受託事業）

### 1. 支援センター企画運営会議の開催

支援センター企画運営会議は四半期毎に1回開催しています。運営会議の構成は、八王子市民活動協議会の三役並びに支援センター長です。会議内容は、支援センター四半期毎の活動報告並びに業務運営に関する協議や意見交換等を行い、相互の連携協力を図りました。

#### 評価と課題

理事会等で日常的報告は行っていますが、四半期毎に行う企画運営会議は、両者の連携強化につながっています。今後とも支援センターの当面の課題だけでなく、中間支援施設として、地域の市民活動を取り巻く環境を見据えた中長期的な課題を含め前向きな討議を行っていきます。

### 2. 支援センター月例会議の開催

毎月1回、月初めにセンタースタッフ及び市担当者、協議会事務局が一堂に会した月例会を開催しています。会議内容は支援センター業務内容の全体概況確認、前月の各部会活動報告並びに予算執行状況の確認です。必要に応じ、各部門の課題や取り組みについての検討・意見交換や勉強会を開催し、課題の共有化、情報交換等、スタッフのレベルアップを図りました。

#### 評価と課題

常勤、非常勤混在の勤務体制のため、スタッフ同士の連携は不可欠で、報告や確認が多くなる傾向がありますが、それに留まらず貴重な時間を様々な意見交換でセンターレベルの向上に役立てました。

### 3. 情報セキュリティー委員会

平成23年度監査が4月26日から5月21日までの間、支援センターの個人情報保護管理規程に基づき実施されました。監査指摘を受け、情報セキュリティー委員会を開催し見直しや修正を行いスタッフの情報管理意識レベルの向上を図りました。

#### 評価と課題

監査結果として、全体的な情報管理体制は認められた結果ではあったものの、管理マニュアル内の文言や表現が不十分、記憶媒体取扱いへの対応不適切の指摘について早急に修正改善を行いました。

### 4. 八王子市環境マネジメント制度への取り組み

今年度も、八王子市環境マネジメントシステム勉強会、ファイリングシステム勉強会等を開催することによって、スタッフの環境マネジメントシステムL A S - Eへの対応レベル向上を図りました。

## 評価と課題

始業開始前や昼休みの減灯、PCの省エネ対応を行うとともに、温度計設置による見える化で、施設利用者の夏季・冬季の室温管理を分かりやすくし、平成23年度比10%以上の節電を達成しました。

### 5. 「指定管理者制度」のモニタリングの実施結果と評価

八王子市より平成23年度支援センターの管理運営に関わるモニタリングの実施結果について書面で通知がありました。総合評価は5年連続の“A”評価となりました。評価概要は市民満足度調査において高い満足度を維持するとともに、メールマガジンの配信件数や助成金情報の大幅増加、新しく名刺作成サービスを始めたことなどが評価されました。

## 評価と課題

まもなく10周年を迎えますが、管理運営について、中間支援施設としての使命を自覚し、事業の推進が様々な市民活動団体や市民の方々に有効かつ効果的となるようサービスの向上に努めていきます。

### 6. 調査研究活動

機関紙「SUPPORT802」の特集号を発行するに当たり、八王子における市民活動実態調査を目的に約470団体に対してアンケートを実施し約170の回答を得ました。

## 評価と課題

今後とも中間支援施設として、実態に即した市民サービス向上に資すべく、状況に応じて定期的にアンケート調査等を実施していく予定です。実施に当たっては、設問内容の十分な考察、回収率の向上等にさらに検討を加える必要があります。

### 7. 施設利用状況（24年度・利用件数）

会議室	コピー機	印刷機	面談相談	来所他	電話相談	電話他	活性化室	メール相談	メール他
963	449	296	110	692	95	2,885	837	1	6,016

参考：「平成23年度施設・会議室利用状況報告」

会議室	コピー機	印刷機	面談相談	来所他	電話相談	電話他	活性化室	メール相談	メール他
725	538	376	106	714	85	3,137	511	5	4,997

## 評価と課題

今年度施設利用は、震災による利用制限があった昨年度と比べ、約45.6%の増加があった半面、コピー機や印刷機の利用が18.1%減少しました。また、相談対応件数は、面談、電話相談を含め約7%の増となりました。

### 8. スタッフ外部研修（人材育成）

今年度も、スタッフのレベル向上を図り、支援センターとして相談機能を中心とした市民サービスの質的向上を図るため外部研修に積極的に参加しました。

## 評価と課題

相談業務は支援センターでの大きな柱となる業務であり、その質とレベルの向上は市民活動の基本やその時々ニーズに応えるため、今後とも積極的に研修に参加していきます。

## 9. 施設内の備品の整備

日常的な経費節減を実行し、サービス向上のため備品類の更新や新規備品の購入を行いました。

### 評価と課題

市民利用満足度の向上は、その時々々の市民活動の環境やニーズに対応した設備が必要となるため今後とも、経費節減に努め、必要な設備の整備を進めていきます。

## 10. 図書・資料の充実

支援センターは市民サービス向上を目的に様々な情報提供を行っていますが、書籍や関係資料の閲覧貸し出しもその一つです。今年度も12冊の関連書籍の購入と情報交換・連携団体からの寄贈書籍等50冊を支援センター蔵書として加えました。

### 評価と課題

これからも、時々に応じた情報提供を行うべく、書籍の購入や寄贈書籍・資料を揃えていく予定です。

## 11. 広報部の活動

### (1) 「SUPPORT802」の発行

(発行部数は、毎回5,000部発行)

発行号数	発行部数	発行日	配布先
第48号	5,000部	平成24年5月1日	センター登録団体、協議会会員、市の公共施設、市内各駅の広報スタンド、市外中間支援団体、市内NPO法人、配布希望町会・自治会 その他（八王子町会自治会連合会、八王子老人クラブ連合会、八王子センター元気、八王子レクリエーション協会、紙面掲載団体等）
第49号	5,000部	平成24年7月1日	
第50号	5,000部	平成24年9月1日	
第51号	5,000部	平成24年11月1日	
特集号	5,000部	平成25年1月1日	
第52号	5,000部	平成25年1月1日	
第53号	5,000部	平成25年3月1日	

### (3) 「メールマガジン」の配信

毎月初めに配信しておりますが、配信数は平均450通/月となっております。掲載内容は主として「助成金情報」と「イベント情報」です。

### 評価と課題

「SUPPORT802」紙面では、特に1～2面の内容を重視しており、改正法令の施行に関する解説記事やコワーキング事業の紹介等タイムリーな記事を掲載しました。メールマガジンについては、号を追うごとに配信数が増加しており、様々な配信情報は、広報紙の補完機能でなく、独立した情報発信機能としての重要な役割を担っています。

## 12. 啓発部の活動

啓発部会計画通り、下記の講座を実施しました。

各講座の開催及び参加人数状況は下記のとおりです。

講座名	アクティブ市民塾	市民活動支援講座	市民活動実践講座	計
実施回数	12回	3回	1回	16回
参加人員数	529名	50名	55名	634名
昨年度	464名	60名	88名	612名

## 評価と課題

各イベントを実施するに当たり、「現場で現状と現物で」をモットーにできるだけ活動の現地に行くこと。アクティブ市民塾は、少しでも多くの団体に発表の場や機会を提供し、活動分野も偏りがないように、まちづくり、環境、福祉、子ども教育など均等に割り振るよう努めました。参加者はできるだけ様々な年代の方々にお出でいただく講座内容を企画しています。実施団体には、単なる自分の団体の活動紹介でなく、参加者に有益で参考になる関連情報も紹介していただく等を念頭に企画しています。

### 1 3. 情報部の活動

支援センターは市民サービス向上のため、一般市民の利用者にホームページ上で広く市民活動団体の情報を提供したいとの考えで登録団体情報データベース化を10月2日から運用開始しました。登録団体約300団体のうち、平成25年3月末日現在約120団体が公開済みですが、今後順次入力し利用促進を図ります。また、ホームページを見やすく、利用しやすい画面にするためHP改善希望項目をリストアップし、協働推進課、(株)五大システムと検討をすすめています。

## 評価と課題

利用者目線の情報発信、ホームページ運営を図ると同時に、システム、ネットワーク関係は、トラブルが発生すると、即、日常業務に影響し、市民サービスの低下にもつながることから、より専門的な外部スタッフや関係者の協力も得ながら管理体制を強化していきます。

### 1 4. ファンド部の活動

市民活動団体が継続的な地域活動を続けて行くためには、様々な資源（人、物、資金等）が必要とされるわけですが、市民活動支援センターでは、～経営資源マッチングシステム～「ゆめおりファンド」で一定のアカウントビリティ（説明責任）を条件に、企業や大学、団体より寄贈を受けた物品の頒布会等を通じて無償提供し、市民活動団体の基盤強化の支援を行っています。今年度も、「ゆめおりファンド」の趣旨を発信し、市民活動の活性化を支援すべく活動を行いました。

## 評価と課題

今年度も、日本財団のデータベースCANPANへの「ゆめおりファンド」登録促進を積極的に進めるとともに、団体への訪問、ニーズを把握し、提供企業に対して具体的な物の提供依頼ができることを目指しました。また、誰でもホームページで公開している在庫リストで在庫品が一覧できるようになったので、物の要望もしやすくなったと考えています。このようにリアルタイムに、物に対する要望とそれを提供する基盤はできたと考えています。今後は引き続き在庫リストを充実させていく予定です。

## 【2】協議会独自活動

### 1. 総務・事務局活動

#### (1) 事務局会議

平成24年度は前期に比べさらに事務局体制を強化し理事長を含め9人体制で運営しました。事務局の業務は会員管理、広報活動、備品管理、プロジェクトへの対応、イベントへの対応、認定NPOへの対応、支援センターへの支援などで、延べ9回の事務局会議を開催してその内容をまとめ、三役会、理事会へ提案しました。今年度は広報体制を強化し協議会だより、ホームページの担当を決めてそれぞれの内容の充実を図りました。

## (2) 会員管理

平成 24 年度は前期に引き続き会費回収などの点についてきめ細かな会員管理を行いました。会費の未納入者には再三の働きかけや電話での協力をお願いしました。それでも協力の得られない会員には退会をお願いし、実態に沿った体制にしました。

今年度も新入個人正会員の多くは八王子市が行った志民塾の修了生でした。団体会員は昨年度まで減少傾向でしたが、今年度は少数ではありますが増加に転じました。今年度は特に創立 10 周年に当たり各方面へ広く働きかけました。

会員数 平成 25/3/31 現在		会員数 平成 24/3/31 現在	
団体正会員	65	団体正会員	62
個人正会員	67	個人正会員	60
賛助会員	44	賛助会員	42
協力会員	39	協力会員	44
合計	215 名	合計	208 名

## (3) 「国立東京高専サイエンスフェスタ」への参加

平成 24 年度のサイエンスフェスタは昨年同様、秋の東京高専学園祭と一緒に行われました。昨年は市民活動団体の会場が分散し集客面で問題がありましたが、今回は 1 か所に集約され来場者の増加にかなりの成果があったと思われます。

今年度は協議会から 3 団体と個人正会員 1 名が参加し日ごろの活動紹介を行い、会場を盛り上げました。サイエンスフェスタは子供たちに市民団体の活動紹介を行う機会としては絶好の機会であり、協議会としては重要なイベントと位置付けています。今回の参加は「住まいづくり市民塾」、「カウンセリング・まてりあ」、「八王子お手玉の会」、及び竹細工の小原清さんが参加しました。

## (4) 会員交流会「新春の集い」兼創立 10 周年記念パーティー

今年度の「新春の集い」は東京都立八王子労政会館に於いて創立 10 周年記念パーティーとして平成 25 年 1 月 19 日に行いました。パーティーは例年の立食形式ではなく着席式で行ったため、締切りぎりぎりのお申込みはお断りするほどの盛会となり、一部の方にはご迷惑をかけました。

パーティーには八王子市長をはじめ多くの来賓にお集まりいただき、例年になく華やかなパーティーとなりました。今年は 10 年目の節目として協議会在籍 10 年の方の功労者表彰も行いました。功労者表彰は功労者表彰規程に基づき 10 年在籍正会員の方を表彰するもので、今後は継続的に表彰することになります。また「協議会 10 年のあゆみ」と「紅白まんじゅう」も配布し雰囲気盛り上げました。協議会 10 周年を記念しての「協議会シンボルマーク」の募集を紹介し、祝賀会を終了しました。

## (5) 個人情報管理について

会員名簿は協議会が扱う個人情報ですので、担当者を限定し管理しています。管理は支援センターの管理体制を規範として行っています。

## (6) 決算について

平成 24 年度は 10 周年の関連事業として「協議会 10 年のあゆみ」の発行と 10 周年記念パーティーを開催しましたので事業費がかなりオーバーしました。

また、今年度からは、他団体との合同による実行委員会方式をとっている連携事業については別会計

として対応する決算方式をとりました。該当する実行委員会は「お父さんお帰りなさいパーティー実行委員会」、「いちょう祭り・わくわく広場実行委員会」と「NPO パワーアップ事業実行委員会」の3つの事業です。

更に、法改正に伴い NPO 法人の決算方式が従来の収支計算書から収支報告書形式に代わりましたので、東京都への報告はこの方式に変更します。

#### 評価と課題

事務局体制がさらに強化され、いろいろな問題について話し合いが行われました。その一つとして大学セミナーハウスに於いて理事合宿研修を行い、協議会のこれからについて話し合いました。

また、協議会としてはぜひとも認定 NPO の資格を取得し名実ともに八王子を代表する NPO 団体を目指すべく「認定 NPO 取得プロジェクト」については事務局全体の問題として受け止め、合同で対応してきましたが、24 年度での取得はできませんでした。25 年度に再度挑戦します。

## 2. 広報活動

### (1) 協議会だよりの発行 (A 3 両面印刷)

「協議会だより」は、前年度同様、年 6 回偶数月の 1 日付で発行しました。発行部数は毎回 1,000 部です。昨年度まで担当者 1 人で対応しましたが、今年度は 2 人体制とし、45 号からは協議会の団体会員を訪問し活動紹介に取り組みました。

発行号数	発行日	配布先
第 42 号	平成 24 年 4 月 1 日	協議会会員、広報紙掲載団体、市民センター、 支援センター関係団体、市内 NPO 法人 窓口配布、各種イベント等、その他
第 43 号	平成 24 年 6 月 1 日	
第 44 号	平成 24 年 8 月 1 日	
第 45 号	平成 24 年 10 月 1 日	
第 46 号	平成 24 年 12 月 1 日	
第 47 号	平成 25 年 2 月 1 日	

### (2) 協議会ホームページ

ホームページの担当者も増えたことにより、リンク切れ等の不具合の改善や、タイムリーなホームページの更新などの改善に取り組みました。今後は 1 ページホームページの管理体制など更なる改善を行う予定です。

#### 評価と課題

「協議会だより」や協議会ホームページは体制の充実により、紙面およびホームページの見直しを行い、より親しまれる協議会をめざします。

具体的には協議会だよりは内部の印刷から外部へ印刷依頼を行い、品質の向上、費用の削減を行います。ホームページは会員団体の多くがホームページ上で PR し、市民からも気軽に見ただけのような 1 ページホームページの改善を図ります。

## 3. ネットワーク推進活動

### (1) 井戸端会議

今年度も井戸端会議は市民活動団体が地域に根ざした活動の推進や地域の地縁団体と市民団体の連携を推進することを目的として開催を予定しました。そこで地域の団体へ訪問するなど、地域のネットワ

ークの状況・必要性を調査しました。地域ネットワークを進めて行くべく、準備をしましたが、すでに地元地域を中心に実行へと進んでいましたので、井戸端会議の開催は断念しました。

また、21年度開催の市民フォーラム「井戸端会議—子どもと共に地域をつくる」を引き継いだ「子ども支援団体ネットワーク」は今年度も八王子市子ども家庭支援センター主催、八王子市民活動協議会共催で2月23日にクリエイトホールで開催しました。

今年度は団体の連携力を高めるために「コミュニケーション講座」を行い、好評を得ました。

## (2) いちょうまつり「わくわく広場」—11月17日・18日—

今年も昨年と同じように初日17日(土)は無情の雨模様(ポツリポツリ程度)、人出は伸びませんでした。朝から、八王子お手玉の会はセンター和室に、「うたごえ喫茶」は体育館に音響をセットして来場者を待ちました。体育館に自分たちの展示作品を見に来たディサービスの利用者の人たちも各会場を大いに楽しみました。翌18日(日)は快晴、温かな日和に誘われて、いつになく大勢の人々が訪れ、どこも前日の赤字を取り戻すことができましたようです。協議会も綿あめ販売を試みて初日は来客が少なかったが、二日目は子供たちが大勢訪れ、ぎりぎり採算が取れました。

24年度は28団体が参加、そのうち、新しく5団体が加わりました。おなじみの地元野菜の2団体、介助犬が参加出来なかったのは残念でしたが、食べ物を扱う団体も増え、種類も豊富になりました。また、今年の「わくわく広場」のテーマ「体験」をポイントとした子どもたちのスタンプラリーも行い、景品の宝引きも好評でした。各参加団体・個人会員の売上金の一部を今年も東日本大震災の義援金とさせていただきます。

実行委員会で「わくわく広場」の目的・意義を話合うことに努めたこともあり、前日準備、後片づけも参加団体のチームワークで随分時間を短縮できるようになりました。みんなで作る「わくわく広場」を市民団体の相互連携実践の場として、また、それぞれの団体の発展の場として継続していきたいと思えます。

なお、今年度から会計については、連携事業として別会計方式をとりました。

## 評価と課題

「井戸端会議」の地域での開催に関して、もう一度見直す必要があります。やはり、地域の中から立ち上がった形が望ましく、それをどう支援できるかを今後考えるとともに、分野ごとのネットワークも再度考える必要があります。

「わくわく広場」を協議会中心の活動から、実行委員会中心の活動へと移行を試みましたが、今年度は一歩後退しました。協議会が中心となってすすめるべきとの意見もあり、市民団体のネットワークの強化と各団体の力をつける機会となるような活動を展開するには協議会の立ち位置をどうすべきか話合う必要があります。

## (3) 「お父さんお帰りなさいパーティー」(略称:オトパ)

第12回「オトパ」は、2月2日(土)八王子労政会館に230余名が参加して行われました。冒頭、石森市長から「シニア世代の地域活動参加への期待を込めたご挨拶」を頂き、松本すみ子さん(シニアライフアドバイザー)からは「もうひとつの人生、地域デビュー～地域に活かす私の力～」をテーマに、シニアが地域デビューを考えるきっかけになる講演をしていただきました。その後、初めての参加者はツアーガイドの案内で、出展団体(34団体)を巡って興味のある団体との出会いを、その後の交流会には参加者全員が集い、飲み物と軽い料理で寛いで、地域活動に対する想いや、質疑などが熱心に行われ



会場が熱気に包まれるような雰囲気でした。

また、オトパ終了 1 ヶ月後にオトパ参加者をフォローアップする会合を、更に今回は出展団体と初のミーティングを開いたことで、参加者・出展者双方から貴重な意見・提案を伺うことができました。マスコミ関係からは、日経新聞、毎日新聞（全国版）、あさここ、老友新聞等に掲載記事、八王子テレメディアからの取材・放映がありました。また周辺都市からもオトパのような行事担当部署から多数見学に来られ、元気な八王子オトパを参考にされていました。

#### 評価と課題

- ・第 1 2 回オトパは昨年並みに 230 余名の参加者と 43 団体の出展で盛況でしたが、まだ知名度は十分でなく、早い時期からの広報と幅広い広報手段の活用が課題と考えます。
- ・「ツアーガイド」は今回も好評でしたが、会場内巡回時の渋滞改善が課題と考えます。
- ・「参加者と出展団体との交流」は懇親パーティーで、一層の交流が図れる工夫が必要と考えます。
- ・現在の会場では、230 余名収容が限界。増員のためには更に広い開催場所確保が課題と考えます。
- ・「団体紹介冊子」は最新の内容に更新されて好評です。更なる活用が課題と考えます。
- ・今回はマスコミ関係取材も多く、オトパ知名度向上に寄与しました。元気な八王子オトパを参考に、他の地域でシニアの地域参加活動が活発になることに協力したいと考えます。

#### 4. 政策研究活動

平成 24 年度の政策研究部の活動計画は、前期の計画に則って次の 3 つの事案を中心的な対象として、調査研究を推進しました。

- (1) 「ゆめおりファンド」のステップアップについての研究
- (2) 認定 NPO 法人資格取得についての研究
- (3) 「協議会長期(10 ヶ年)構想」の推進についての研究

進め方としては、5 つのグループを編制し、具体的な取り組みを推進することにしました。

##### (1) 「ゆめおりファンド」のステップアップについての研究

このジャンルの中で 4 つのグループを作りました。

###### ① 人材「発掘・育成」支援グループ

「ひと」の面からの支援活動として、人材ニーズの把握、人材の「育成・発掘・派遣」を重点項目に掲げ、団体訪問により「ヒアリング・アンケート」調査等を行い、現場のニーズ把握に努め、人材のデータベース化を目指して、活動を進めてきました。

###### ② 認定 NPO 法人資格「取得・維持」支援グループ

認定 NPO 法人資格取得により寄付金集めの地盤を築く「かね」の面からの支援活動を目指しました。しかし、先ず協議会自体が認定 NPO 法人資格を取得することが先決問題と認識し、認定 NPO 資格取得プロジェクトを立ち上げ、統合することにしました。

###### ③ 事業運営サポート情報グループ

NPO 事業運営を「情報」の面から支援する為、事業運営に役立つ情報支援誌の発行等を目指しましたが、進展させることができませんでした。

###### ④ 連携推進グループ“絆”（“絆”グループ）

中間支援団体の役割は、社会貢献活動を行う市民活動団体及び個人を対象に、相互の連絡、連携、運営や活動に対して「助言・援助」を行うことである、とされています。

“絆”グループは、こうした考えを基に、NPO の運営等をより効率的に推進するための支援

を目指しました。

24年度の具体的計画は、組織基盤強化の為のネットワーク化の推進と協働を重点目標とし、

①団体間のネットワークを広め、効果的な交流の場を設置する。

②各団体の「コミュニケーション・絆」を強めるため、各団体の経営情報の交換、団体間の「交流・親善」の場づくりを実施する。

上記を踏まえ、平成24年10月19日、八王子市民活動協議会「正会員団体交流パーティー」の開催にこぎつけ、有意義な情報交換が行われました。参加者からは、今回のグループミーティングは有益であり、是非続けて欲しいとの多くの要望がありました。これらの意見を尊重して次回は、会員の希望を生かした、より効果のある会を開催いたします。

## (2) 認定NPO法人資格取得についての研究

本件については実行段階に入った事業として特別プロジェクトを編成して対処しました。

## (3) 「協議会長期(10ヵ年)構想」の推進についての研究

10ヵ年計画構想についての研究は、①ゆめおりファンド」の充実、②NPO経営サポート情報部の創設、③事業開拓研究推進部の設置の3項目について、取組みを開始しました。

①と②については、①「ゆめおりファンド」のステップアップについての研究の項参照ください。

尚、ゆめおりファンドについては、行政との協働研究として「ファンド研究会」を開催しています。本年は2回開催し、第1回は現在活動を開始している「物の支援」についての検討がなされました。第2回目は、10月12日に開催され、人の支援について、経営支援アドバイザー制度の支援センター委託等の検討がなされました。しかし、その後進展がないのは反省すべき事であります。

③事業開拓研究推進部の検討の中で、中間支援団体が行う収益事業にはいろいろな難しさがあり、理事全員から意見を聴きたい旨の提案があり、8月24日の理事勉強会の議題として取り上げられ、出された提案は新規事業開拓グループによって次の3案にまとめられました。

課題①これまでに蓄積した知見、ネットワークを活かしたソフト面の事業

課題②事務所を借りてインキュベーション事業、又はその請負業

課題③市の事業を受託する。リスクが少なく安定運営が見込めるもの

この3案は、11月25日～26日の年末理事勉強会で討議の結果、

課題③は、今回の勉強会の課題から除外し継続検討課題としました。

課題①は、検討したが提案書の作成までには至りませんでした。

課題②は、「コワーキング事業が創るNPOの未来」として提案されました。

これを受けて政策研究部は、【地域活動活性化事業センター】の設立を企画し部内討議しました。

討議の結果、初期投入財政の困難さ、推進人材不足等から、理事会提案を見送りました。

## 評価と課題

24年度は、協議会のミッション、部のミッションを確認し、明確化したうえで、実行グループを5グループに分けてスタートしました。

絆グループの「正会員団体交流パーティー」の開催、新規事業開拓グループの問題提起による、理事勉強会の課題テーマへの展開などは、功を奏した一例です。

課題は、①メンバーが多忙なこと②メンバーが自由に集まれる場がないこと③地域活動活性化事業センターの提案については、提案取りやめではなく、引き続き調査・研究をすべきではなかったか等反省しています。また、協働推進課とのファンド研究会も、その後開催されずにいたことは、残念な事であ

りました。今後はこのような課題の解消を図ります。

## 5. 特別プロジェクト活動

平成 22 年度から、協議会としては各部に属さない新規事業について特別プロジェクト制をとり、積極的に新しい事業の開発に取り組んできました。

特別プロジェクトの遂行には可成りの工数がかかるのでプロジェクトメンバーと事務局スタッフとの緊密な連携作業が必要です。毎月の定例事務局会議を通じて緊密な連携を図っています。今年度は下記のプロジェクトに取り組みました。

### (1) 八王子 NPO パワーアップ事業

本プロジェクトは連携事業として位置づけられるものですが、平成 23 年度に、「八王子 NPO パワーアップ事業」として、5 団体（協議会、協働推進課、著作権推進会議、八王子子ども劇場、八王子生涯学習コーディネーター会）による協議体形式の実行委員会を立ち上げ、東京都の「新しい公共支援事業」に申請し認可され、協議会は実行委員会の中心的役割を果たしました。この事業は「第 3 回 NPO 八王子会議」と「第 1 回 NPO パワーアップ講座」の二つのプロジェクトの合成形態をとりました。

#### ① NPO 八王子会議

第 2 回 NPO 八王子会議は 24 年 2 月、第 3 回は 25 年 3 月に開催しました。第 1 回は協議会の独自事業として開催しましたが、八王子市内の NPO 団体が一堂に会し、相互連携や課題の共有化、政策提言等を行う場づくりを目指して NPO 団体の結集を図った会議です。団体間の共通認識の醸成及び意識アップを図り、その改善意欲を「NPO パワーアップ講座」での実務能力アップにつなげると共に、受講団体間のネットワーク構築を狙ってパワーアップ事業として再構築しました。240 余の法人格取得団体、それに倍する任意団体を擁する八王子市の市民活動団体の連携を深める場として、NPO 八王子会議の存在意義はますます深まってきております。

#### ② NPO パワーアップ講座

平成 24 年度は団体スタッフの養成を目的にした実務講座としての「NPO パワーアップ講座」を新たに開催し、「NPO 八王子会議」との両輪をそろえることが出来ました。24 年 6 月 7 日開講式を開催し、団体スタッフ向け連続講座とし、9 月一杯で 7 講座 9 日間の講座を修了しました。7 月には別途パソコンの基本講座を 3 日間開講しました。9 月 1 日には、NPO にとっては画期的な「新寄付税制」についてこの分野の専門家に講演していただきました。

いずれも講師、受講者とも真摯に対応していただき熱のこもった講座となりました。途中 8 月に中間報告会を開催し、活動計画の紹介に加え、講座参加者の懇親も深めました。10 月 25 日には、「NPO パワーアップ講座修了式」を開催し、講座としての一区切りをつけると共に、新しいネットワークのスタートとしました。

この研修の間、団体同士の交流の芽が出たり、個人的な交流も進み、メンバー同士の会話も弾むようになりました。受講各団体でいろいろな取り組みが始まっています。事務局としては講座終了後も 25 年 1 月に団体情報交換会、3 月には 2 つのレベルに分け、会計のフォローアップ講座を開催する等、ネットワークの維持に工夫しました。

各講座及び総合アンケートの結果も好評で、この講座が役立つかとの問いに対し、回答いただいた 13 団体の参加者全員が役立つと答えてくださいました。

講座の具体的な成果として次のような大きな成果を出すことが出来ました。

①NPO 法人格取得	2 団体
法人化検討	2 団体
②助成金獲得	8 団体
助成金申請中	2 団体
④ホームページ新規開設/開設予定/見直し	5 団体
ホームページ開設済	12 団体
⑥ブログ新規開設	3 団体

参加団体「すまいるカフェ」は、ミッション、事業計画等、スタートから講座を参考にされ、NPO 法人格を取得されました。

なお、本事業は東京都からの助成金対象事業であり連携事業として別会計方式をとりました。

#### 評価と課題

- ① NPO 八王子会議は第 3 回を迎え、定着してきた感があります。今回は講座の構成にも工夫を凝らし、多くの参加者にわかりやすい講座内容となるよう計りました。団体向けの八王子会議と団体スタッフ向けの個人講座との両輪講座が定着してくれば八王子の市民団体のレベルアップに大きな役割を果たすことができると思われまます。
- ② 初めての団体向け連続実務講座「NPO パワーアップ講座」は、各講座ともアンケート結果では大好評でした。NPO 法人格取得、助成金獲得等具体的な成果も出ています。また、講座終了後も、メーリングリストによる情報交換を通じ、ネットワークを維持しています。実行委員会としても、中間報告会、修了式の追加実施、会計のフォローとして個別専門相談から集団によるフォローアップ講座への切り替え等、適切な改善を実施したことは評価できると思います。ただ秋に実施した特別講演会は、参加人員の予測に甘さがあり、今後検討する必要があります。

講座そのものは好評でしたが、この結果を団体の実際の改善に活かす点ではまだ充分とは言えません。今後も引き続きネットワークを通じ、一般の情報交換と併せ改善につながるフォローの工夫が必要です。また NPO 八王子会議と NPO パワーアップ講座のさらなる連携が望まれます。

#### (2) 認定 NPO 資格取得プロジェクト

昨年 4 月 1 日から改正 NPO 法が施行されて「認定 NPO 法人」が取得しやすくなったのを機に、「仮認定」の申請をすべく準備しました。

「仮認定」では、従来ハードルが高かった PST (パブリックサポートテスト) が不要となり、通常の NPO 法人としての運営が NPO 法に照らして適切であれば認められる制度です。

協議会の運営状況から、「仮認定」の取得はそう難しくないと考えて、平成 22 年度～23 年度の事業報告その他、各資料を作成し、東京都に申請書を提出しました。10 月には東京都から職員が現地確認に訪れ、3 時間に亘って、会計帳簿、事業報告書、役員名簿、会員名簿、定款、登記事項証明書、総会理事会議事録などのチェックが行われました。最終的には準備不足のため、「仮認定」の申請を取り下げました。

新年度にはこれらの手続きを完了し、再度挑戦します。

#### 評価と課題

会計帳簿、事業報告書、役員名簿、会員名簿、定款、登記事項証明書、総会理事会議事録など必要書類については多少の不備があるものの整っていました。しかしながら、過去の役員の法務局への登記な

ど日程的に難しい問題が発生し今回は申請を断念しました。新年度にはこれらの手続きを完了し、再度挑戦します。

### (3) 協議会 10 周年記念誌作成プロジェクト

24 年 6 月に特別プロジェクト「10 年史編集実行委員会」を立ち上げてから 11 月まで 11 回の編集会議を開催し、編集委員全員でどのような内容なら皆さんに読んでいただける記念誌になるだろうかと検討を重ねました。「見て楽しい」をテーマに、編集委員全員で、取材、データの収集、執筆に取り組み記念誌「10 年の歩み」を完成させました。

巻頭特集には「協議会誕生と創成期あれこれ」と題して、協議会創成に関わられた方をお招きして座談会を開きその内容を掲載しました。10 年間行ってきた様々な事業やイベントなどを文章や写真で紹介するとともに、資料編も設け、一目で歴史がわかるよう、データも多数掲載しました。

この 1 冊で協議会の 10 年の歴史がすべて、わかるような記念誌として、読みやすく、手に取っていただきやすい内容になったのではないかと思います。

#### 評価と課題

10 年史の編集に当たっては、将来の協議会関係者が手軽に、過去の経過を正確に知ることができる 10 年史であることと、初めて会へ参加される会員や、外部の方にも、易しく、かつ読みやすい 10 年史として協議会を知って頂けるような記念誌にしたいという想いで取り組みました。

編集委員の方々は資料探しに大変な苦勞をしましたが、所期の目的にあった素晴らしい「10 年の歩み」が完成しました。多くの皆さんに読んでいただければ幸いです。今後は 10 年後の 20 年史作成を目指して、各年度の主要行事に携わる理事各位や事務局スタッフの正確な記録作成と、整理された書類やデータを残していくことの大事さが大きな課題です。

## 第 2 号議案 平成 24 年度収支決算 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

1. 平成 24 年度 八王子市民活動協議会 収支決算書・・・・・・・・・・別紙 (1)
2. 平成 24 年度 八王子市市民活動支援センター 収支決算書・・・・・・・・・・別紙 (2)
3. 平成 24 年度 八王子市民活動協議会 貸借対照表・財産目録・・・・・・・・・・別紙 (3)
4. 平成 24 年度 八王子市市民活動支援センター 貸借対照表・財産目録・別紙 (4)
5. 平成 24 年度 監査報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・別紙 (5)

## 第3号議案 平成25年度事業計画案（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

### 基本方針

昨年度は協議会発足10周年の記念すべき年度でした。いよいよ、今年度から第2ステージともいうべき11年目に入ります。八王子市のゆめおり計画や石森市長の言葉にもある通り「協働のまち八王子」を目指して更なるステップアップを図るべく会員の皆様と共に堅実に活動の展開を図っていきます。

八王子市は早くから「行政とNPOとの協働のあり方に関する基本方針」を定めて、あるべき姿としての行政とNPO団体との連携関係・協働のあり方を定めています。新たな市の基本構想・基本計画「八王子ビジョン2022」にも協働のまち作りが定められています。我々協議会もこの構想に全面的に賛成であり、この構想を遵守して協働に取り組んでいくことを基本方針とします。

八王子市の指定管理者として運営を任されている支援センターについては、幸いにも25年度から念願であったフロアの大幅拡張を実現できました。これを機に支援センターの存在を各方面にPRし、多くの団体や市民の皆さんに一層の活用をしていただくべく積極的な活動を展開してまいります。会議室利用等の諸々の便宜を図ると共に、啓発活動の更なる活性化、広報紙、ホームページ、メルマガ等を通じての広報活動の活発化、市民団体への貢献度の高いファンド事業の一層の進展により市民団体への支援を図ると共に情報公開促進のための日本財団が運営するCANPANシステムの活用を図ります。また、本年は支援センター開設10周年の年度に当たりますので、然るべき記念事業を企画します。

協議会の独自事業としては、諸々ありますが、行政・地域・市民団体による交流の場「井戸端会議」の開催は実質的な形で継続実施いたします。協力団体と一緒に参画する「東京高専サイエンスフェスタ」への参加は今年も継続実施します。また、今年度で第4回を迎える「NPO八王子会議」は八王子地域の市民活動諸団体のコラボレーションの機会づくりとして定着してきました。この事業は継続しますが、諸般のイベント開催との関係で26年度に開催が延期される予定です。今年度は新規事業として、八王子市市民活動推進部協働推進課（以下：協働推進課）から委託を受ける「はちおうじ志民塾」（以下：志民塾）への取り組みを行います。理事と卒塾生を中心に実務を担当し、新たな志民塾を目指して第一歩を踏み出します。協働推進課の指導の下、理事会の全面バックアップで企画・運営すべく、総力を挙げて取り組みます。

政策研究部を中心に研究を重ねてきた長期（10ヵ年）構想に基づく中期計画の作成、新規事業の模索は続けていきますが、今年度は当面の最大課題である「認定NPO資格取得」の実現に向けて着実な展開を図ります。また、認定資格の継続的な維持のために必要な寄付問題について更なる検討をしてまいります。絆グループにより開催された「正会員団体交流パーティー」は第2回として継続実施いたします。

第三の事業としての連携事業についても従来以上の熱意をもって取り組んで参ります。継続事業として協議会、八王子市、市民有志の三者構成による実行委員会で運営するシニアの方々への市民活動参入のきっかけづくりを図る「お父さんお帰りのパーティー」（略称：オトパ）は第13回を迎えますので、早期の実行委員会立ち上げを図り実施してまいります。また、市民活動の実務担当者向け講座として立ち上げたNPOパワーアップ講座は前年度で東京都の助成金が終了しましたが、「**新NPOパワーアップ講座**」として、主体団体としての協議会と八王子子ども劇場、著作権推進会議、八王子生涯学習コーディネーター会との4団体による実行委員会で企画・運営いたします。平成25年度は八王子市の市民企画事業に採択されて助成金も決定されました。更なる充実した講座として展開いたしま

す。大きな枠組みとしては団体向け企画としての協議会運営の「NPO 八王子会議」と共に、個人向け講座としての「NPO パワーアップ講座」の両者が相互に緊密な連携をとりながら、更なる相乗効果を発揮すべく企画します。さらに、例年取り組んでいる八王子いちよう祭りでの「わくわく広場」の活動も参加各団体による実行委員会を立ち上げて取り組んでまいります。協議会は中心団体としての役割を確実に果たします。

内部体制としては、協議会としての取扱い事業が独自事業、連携事業の両者で増えておりますので、事務局メンバーの拡大を図り、実務レベルでの能力増強を図ります。また各種のイベントを通じて理事、会員の皆さんの参画機会を増やし、トータルとしての活動活性化を図るべく努力します。

また、地域活動団体としての町会自治会活動との連携はいろいろな機会を通じて深めていき、実効性のある連携を目指します。更に市民の代表である市議会議員や行政の方々とは幅広く連携を深めていく所存です。

### 〔1〕 支援センター活動（協議会の受託事業）

今年度は、支援センターが開設されて 10 周年を迎える記念すべき節目の年であり、新たな 10 年の出発点となります。

八王子市においても、「八王子ゆめおり市民会議 2011」の素案をもとにこれから 10 年の基本構想・基本計画「八王子ビジョン 2022」が策定され、新たな 10 年が始動します。その大きな柱は、「人とひとの支えあい、つながり」と市民・行政の互いの役割と責任ある行動による「協働」とされ、まさにこれからのまちづくりは、市民力・地域力が求められていることが示されています。

こうしたまちづくりの一端を担う市民活動を取り巻く環境は、近年新寄付税制やNPO法が改正されたことにより制度的環境整備が進みつつあります。しかし、支援センターで昨年実施したアンケート調査にも表れているように、依然として市民活動団体を構成する人材、資金、情報等の基盤は脆弱であり、基盤強化による継続性や信頼性向上が求められています。

加えて、八王子でも進行する高齢化社会で、いかにシニア世代が地域社会に参画し自助共助の市民力を高めるかも課題とされます。

こうした中、中間支援施設としての八王子市市民活動支援センターの果たす役割は益々重要になっており、その効果的事業推進が求められています。

平成 25 年度も引続き、指定管理者である特定非営利活動法人八王子市民活動協議会その他様々な団体との連携を推進し、“つなぐ、ささえる、みんなの想い”をスローガンに、地域課題に取り組む市民の方々や市民活動団体を支援し、市民力・地域力向上のお手伝いをしてまいります。

今年度は、下記重点施策をもとに具体策に取り組みます。

- ① 市民の自発的な地域貢献活動を支援します。
- ② 市民協働のまちづくりを担う市民活動団体を支援・育成します。
- ③ 市民活動団体の相互交流の促進や市民、行政、企業、大学、町会・自治会、諸団体とのネットワークの形成とパートナーシップを育てます。

#### 1. 機能の充実と強化

①市民活動の“プラットフォーム”的存在として、相談、コーディネート機能の充実・スキルアップや市民活動の啓発活動、ニーズに応じた情報収集と提供（特に活動資金のサポート）等の一層の充実を図り

ます。また、市民活動団体その他多様な団体との関係構築のため現場を重視し、連携サポートを進めていきます。

②市民活動の基盤強化や信頼性向上を目的とした「ゆめおりファンド」（物の提供仲介機能）を推進することで、市民、市民活動団体、企業 CSR との相互連携や地域資源の有効活用に努めます。

③支援センターの市民活動サポート機能と利用者満足度の向上を図ります。

④実務の改善と効率的運営で経費の節減に努めます。

⑤支援センタースタッフの教育研修と人材育成に努めます。

## 2. 企画運営会議

支援センターは、八王子市民活動協議会と四半期毎に1回、企画運営会議を開催し、両者の連携強化と中間支援施設として地域の市民活動の中長期的な課題を含め討議を行っていきます。

## 3. 情報セキュリティー委員会

個人や団体の情報を多数預かる支援センターはその情報管理に大きな責任があるとの認識から、支援センター個人情報保護方針に基づき、情報セキュリティー委員会を定期的に開催します。

## 4. 八王子市環境マネジメントシステム (LAS-E)

八王子市が推進している八王子市環境マネジメントシステム (LAS-E) に準拠した業務を推進し、施設環境の整備改善に努めます。

## 5. 相談業務と人材育成

相談業務に当って、相談者に寄り添い、受け止めるという基本的な手順とともに、相談内容の高度化やニーズの多様化に対応するため、スタッフのスキル（専門知識、情報処理能力、人脈ネットワーク等）アップでタイムリーな課題に対する対応能力向上に努めます。

## 6. 調査・研究事業

利用者のニーズと期待に対応したサービス向上のため、毎月開催の諸講座（アクティブ市民塾等）の「アンケート調査」や「施設・会議室利用状況等の市民満足度調査」等の調査結果を集計、分析し公表するほか、必要に応じ八王子における市民活動の実態やニーズを調査し、今後の市民活動支援に資する活動実施を検討します。

## 7. 施設運用管理

平成25年度は、市民活動支援サービス向上のため、八王子市の積極的施策により、支援センター施設の面積が206㎡に拡張されることになりました。

これを受け、支援センターとしてさらなる市民サービス充実のため、これを有効活用し、市民の方々の地域活動のきっかけ作りや情報収集、交流の場としてのフリースペース（市民の方が気軽に立ち寄れる場）を設置します。

## 8. 施設の安全、危機管理体制

当センターが入居しているビルでは、今年度から防火管理者設置等フロア管理責任も担うことから、自衛消防訓練（消火、避難、通報、安全保護等）への参加や防火上必要な教育研修等に参加して危機管理能力を高め、施設利用者の安全管理を含め施設全体の安全管理体制の充実を図ります。

## 9. モニタリング制度への取り組み

指定管理施設に対する八王子市のモニタリング事業評価制度について、委託契約業務の遂行はもとより、独自の年度計画事業の確実な実行により外部評価に耐えうる施設運営を目指します。



## 10. 支援センター設立10周年記念事業の実施

八王子市市民活動支援センターが設立され6月24日で10周年を迎えるに当たり、記念事業として、下記事業を実施します。

- ①記念冊子の出版
- ②記念イベントの実施

### 11. 啓発部計画

今年度の啓発部の活動は下記計画で行います。

講座名	目的・内容	回/年	対象
1. 「アクティブ市民塾」	市民活動団体の紹介及び市民との交流	12回	市民と市民活動団体
2. 「市民活動実践講座」	市民活動や市民力の向上	1回	同上
3. 「市民活動支援講座」	市民団体間の交流や連携支援及びレベルアップ等	3回	指定した市民活動団体

#### (1) 「アクティブ市民塾」

広い分野で活発に活動している市民団体の紹介と市民との交流の場として、毎月1回、原則第4土曜日で開催します。

#### (2) 「市民活動実践講座」

今年も1回の企画ですが、市民や団体の市民力向上を目指します。

#### (3) 「市民活動支援講座」

市民団体間の交流や連携支援及び団体のレベルアップ等を目的に開催します。

### 12. 広報部計画

#### (1) 広報誌「SUPPORT802」の発行

前年度同様、隔月（奇数月）年6回発行を予定しています。昨年度、情報発信機会の多様化を目的に「特集号」を発行しました。「特集号」については、今後とも市民サービス向上のため、機会をとらえ発行に向けた検討をすすめていきます。

#### (2) メールマガジンの発信

毎月1回の配信を予定しており、内容は支援センター情報、協議会情報、八王子市情報、助成金情報、市内外イベント情報等を配信予定です。

#### (3) フリーライターの養成

多様な意見や視点でとらえた紙面づくりを目指し、また将来の広報部員育成、人材育成そして支援センターのファンを増やすことを目的に、広く外部から「フリー記者」を募り、広報部活動に参画してもらうためフリーライターを養成します。

### 13. 情報部計画

#### (1) ホームページの充実

- ・市民活動団体情報の電子データ化を完成し、検索システムを備えた八王子の市民活動に関わる有数の情報センターを目指します。
- ・ホームページ改善については協働推進課及び㈱五大システムと定期的な打ち合わせ・連携により必要な改善を行います。

## 14. ファンド事業部計画

ファンド事業は、日本財団のCANPAN登録で一定のアカウントビリティ（説明責任）を条件に、企業や大学、団体より寄贈を受けた物品を頒布会等を通じて無償提供し、市民活動団体の基盤強化の支援を行っている事業です。

### （1）物の支援

ゆめおりファンドについて再来訪を希望している団体訪問、および、具体的ニーズのある団体に対しては、在庫品頒布の提案をし、また、企業訪問等において寄贈支援、協力をお願いをしていきます。

### （2）ゆめおりファンド（CANPAN登録）新規登録促進

従来の説明資料に加え、簡単なプレゼン資料（登録の主旨やメリット、CANPANとの関連、ニーズ、在庫品、頒布実績等）を作成し、未登録の団体に対して、登録を勧めていきます。

### （3）既登録団体支援

団体を訪問し、抱えている課題を聞くことから始め、ファンド部として支援できることは何かを検討していきます。

### （4）在庫管理と在庫リスト

定期的に由木倉庫（ファンド物品の保管倉庫）の在庫を確認し、在庫リストを更新していきます。また、管理帳票を見直し物品の提供元、頒布先を個別に明確化します。

## 〔2〕協議会独自活動

### 1. 総務・事務局活動

#### （1）会員活動の充実及び事務局体制の増強

協議会活動も幅広くなってきました。受託事業としての支援センターの管理運営に伴う協議会としての支援、独自事業の展開、連携事業における主体団体としての取りまとめ活動等多くの事務的バックアップが必要です。その為には事務局スタッフの能力向上が欠かせません。今年度は事務局スタッフを増員して10名体制でのぞみます。同時にスタッフの有償化を推進していきます。

#### （2）特別プロジェクト活動とのタイアップ活動

昨年度は認定NPO資格取得の準備を行いましたが、準備不足なため申請を断念しました。今年度は再度挑戦を目指しますが、最大の問題は資格条件のPST（パブリック・サポート・テスト）のクリアにあります。これらは特別プロジェクトチームが第一義的に対応しますが、特別プロジェクトチームの任務遂行には必然的にかなりの量の事務処理が必要とされますので、事務局スタッフを総動員して協力推進してまいります。

#### （3）イベントの計画

会員交流会は昨年10周年記念事業として取り組みましたが、会員交流会は協議会運営の基本的活動の一つであり、会員は当然のこと、各方面の市民団体関係者や行政、市議会、地域団体関係者等に引き続き幅広く呼びかけていきます。中間支援団体としての協議会はあらゆる分野の団体と関連があり、広く呼びかけることにより市民活動活性化へ貢献することができます。

東京高専「サイエンスフェスタ」への協力参画、お父さんお帰りなさいパーティーをはじめとする、様々なイベントは他自治体の注目を集めており今年もいろいろな工夫を加え、さらに発展すべく事務局としてのバックアップをして推進していきます。

#### (4) 個人情報保護について

個人情報保護に関しては、昨年の経験をもとに支援センターと連携しさらに細部まで注意を払って管理していきます。対象となる文書やデータの取り扱いは事務局スタッフを中心に管理すると共に、スタッフに対する教育も行ってまいります。

#### (5) 予算について

25年度では、NPO パワーアップ講座の東京都からの助成金がなくなるので、それに対応した予算措置が必要です。幸い八王子市の市民企画事業補助金は交付が決定されましたがトータルとしての予算は厳しく、予算の縮小と、更なる効率化が必要です。また、新たに志民塾の運営委託を受けたのでこの面での予算管理もきちんとやっていかねばなりません。

支援センターの拡張に伴う事務所の効率的な運営のための費用等には十分配慮しながら進めます。また、オトパ、パワーアップ講座、わくわく広場等の実行委員会方式での連携事業については引き続き別会計方式で運営すると共に、主体団体として、それぞれの実行委員会経理の堅実管理を行います。

## 2. 広報活動

### (1) 協議会だよりの発行

「協議会だよりに」については、年6回偶数月の1日付けで毎回1,200部発行します。印刷を外部に依頼し、品質の向上と経費の削減に努めます。また、配布先の増強についても研究します。

掲載内容についても、見直しを行います。協議会の活動紹介やイベント情報、団体会員情報、協議会団体会員のイベント情報などで、より親しめる広報紙を目指します。

また、会員団体からの広告掲載も検討していきます。

発行号数	発行予定日	配布先
第48号	平成25年 4月1日	協議会会員、紙面掲載団体、支援センター関係団体、各市民センター（17箇所）、市内NPO法人、窓口配布、各種イベント等、その他
第49号	平成25年 6月1日	
第50号	平成25年 8月1日	
第51号	平成25年10月1日	
第52号	平成25年12月1日	
第53号	平成26年 2月1日	

### (2) 協議会ホームページ

ホームページは協議会の情報発信の有力な手段であります。よって25年度は、24年度に実施できなかった、レイアウトの全般的見直しおよび積極的な情報発信を行います。また、各団体のホームページ登録をより多くできるように企画全体の見直しを行います。協議会会員団体の活動状況が気軽に協議会のホームページから全国に発信でき、且つ全国の市民活動関係者が協議会ホームページを通じて八王子の各種団体の活動状況を見られるよう、各団体とのリンクを張るとともに、手軽に扱える1ページホームページの活用を呼びかけます。

### 3. ネットワーク推進活動

#### (1) 「井戸端会議」の開催

市民活動団体が地域に根ざした活動の推進や地域団体と市民団体の連携（ネットワーク）を推進することを目的とした「井戸端会議」を開催します。ただし、2年続けて開催出来なかったことを検証し、分野ごとの交流も視野に入れて検討します。

\*八王子市子ども家庭支援センター主催「子ども支援団体ネットワーク」に関しては参加市民団体の意向を汲み、市民団体の連携等、今後の在り方を検討していきます。

#### (2) いちょう祭り「わくわく広場」の担当継続

いちょうまつり「わくわく広場」は東浅川流域と長房市民センターを担当地域として協議会がいちょう祭り祭典委員会から F 会場として割り当てられている会場です。参加団体のネットワークの充実を図るために実行委員会形式で開催します。実行委員長は参加団体から選出できるように働きかけを行い、事務局をネットワーク部が担います。7月～8月に参加団体の募集、9月より実行委員会を3回開催、11月15日前日準備、11月16日、17日当日実施、11月中に反省会を行います。

#### (3) お父さんお帰りなさいパーティー（略称：オトパ）

第13回を迎えるオトパは、全国的にも名前が浸透し、各地で見習いたいとの声があり、見学や事情聴取に来る自治体や市民団体が増えています。より良いオトパを目指して、参加者のフォローアップ会合や出展団体交流会で出された諸課題をクリアすべく以下のような方針で進めます。

- 1) 準備を早めて、種々の課題解決に早い時期から取り組みます。オトパに関する情報発信を早い時期から周知すべくホームページなどの活用を図ります。マスコミ関係への情報発信も積極的に行います。
- 2) 「ツアーガイド」はおもてなしの気持ちを持って接してもらうため、研修にも工夫をして行うなど、引き続き関係団体の協力を得ながら最適人材の確保に努めます。
- 3) 「出展団体関係者との交流」を多く持つため、懇親交流会のあり方に工夫をします。
- 4) 労政会館では230名位の参加者が限度です。今後、広い会場の確保、市内他地域での開催、会場費確保の資金調達方法などを検討してゆきます。
- 5) 「団体紹介冊子」は最新の情報で作成されているので、より一層の有効活用のため冊子配布先、配備場所等の検討を進め、さらなる活用を図ります。
- 6) その他、フォローアップ会合や、出展団体との意見交換会で出された意見・提案などをできるだけ反映し、参加者全員に喜んでもらえるオトパにしてゆきます。

### 4. 政策研究活動

平成25年度は、24年度の計画を踏襲し、若干の修正を加え継続的に実施、推進して行きます。

#### 基本計画

政治も世相も混迷する現在、NPOは存在感を増してきており、その活動は行政や市民の期待するところとなっています。しかし実態は弱小組織のNPOが多く、共通した運営上の課題を抱えています。そうした課題解決を支援する為に政策研究部は以下の3つの施策を年次計画として定め推進します。

施策1 「ゆめおりファンド」の充実、拡大

施策2 地域コミュニティの連携、市民団体の「組織強化・ネットワーク化」

施策3 財政基盤確立の為に収益事業政策

## 計画推進体制

24年度当初、5グループを設置し取組みを開始しましたが、25年度は、以下の3つのグループに再編成し、活動計画を推進することにします。

- ① ゆめおりグループ
- ② “絆”グループ
- ③ 事業開拓グループ

## 計画実施の具体化

施策1は、ゆめおりグループによって、未来に向けたNPO支援事業として「ヒト・モノ・カネ・情報」の経営資源の面から「ゆめおりファンド」の充実、拡大を図るため、新たなNPO支援策を創設し、展開していきます。

- ① 時代の変化に対応していく人材の育成支援
- ② 人材のデータベース化による人材の派遣
- ③ 有益な経営情報誌の発刊による情報面からの支援

施策2は、“絆”グループによって、新たな地域環境のシステム創りを行い、「市民活動団体相互の連携・ネットワーク化」「市民活動団体と市民の連携・協働」、市民との接触を深め市民の信頼を得る、市民参加の「輪の活動」の展開に取り組みます。

- ① 団体相互の絆を深め、団体会員のネットワーク結成をめざし、会員から出された希望意見を参考に、より効果のある「団体会員ネットワーク会議」を開催します。
- ② 地域包括支援センターを拠点とした地域元気づくり「モデル事業」創作への「参加・協働」の方法を調査していきます。

施策3は、事業開拓グループによって経営資源を計画的に、継続的に生み出す施策の策定のために「非営利事業・その他の事業」の研究を重ね、実施可能な自主事業を「調査・考案」し、実現化に向けた取組みを開始します。

- ② 年末理事勉強会で提起され継続審議となった課題を検討審議し施策の作成に向けて取り組みます。
- ③ の他事業としての収益事業については研究を重ね、収益確保の新事業の芽を探ります。

## 5. 特別プロジェクト活動

### (1) 認定NPO資格取得プロジェクト

昨年度は準備不足もあり申請を取り下げましたが、本年は昨年の経験を踏まえて、協議会の事務局体制整備や資料作成等に万全をつくり、改めて6月に「仮認定」を申請する予定です。昨年の総会における定款変更や過去の理事変更届け等については24年度中に決められた手続きに沿って、既に所轄庁・法務局に修正・追加報告を提出済みです。本年度は特段の改正もないため、先ず仮認定は取得出来るものと判断しておりますが、なお周到に準備を進めます。

### (2) NPOパワーアップ講座

東京都の新しい公共支援事業による助成金交付は平成24年度で終了しました。平成25年度の「NPOパワーアップ講座」は、4団体（協議会、著作権推進会議、八王子子ども劇場、八王子生涯学習コーディネーター会）で新実行委員会を組み、八王子市の市民企画事業に応募し、幸い補助金対象に選択されました。助成金は大幅に減少しますが、講師料、事務局経費を大幅に削減し講座は継続実施します。今年度の講座は次のような改善を行いさらに充実した講座を目指します。

- ① 受講対象として従来の団体に市民活動を志す個人を加え、長期講座を共にした団体と個人の結びつきが生まれることを狙います。
- ② 講座と本講座の間にフォロー日を設け、学んだことを自団体の見直しにつなげるよう計らいます。
- ③ 中間報告会、修了式も含め7講座16日間の講座とします。
- ④ 助成金申請講座を資金調達講座に変更し、多彩な資金調達を実現しているNPO法人の生の話を聞き、交流します。
- ⑤ パソコンを使用する広報活動講座、情報発信講座は各2グループに分け実施します。
- ⑥ 会計講座は昨年度の午前・午後3日間コースを、受講者の集中力が続くよう、午後のみ4日間の講座とします。

あわせて、平成24年度の受講団体とのネットワークを維持し、平成25年度受講団体との交流も図っていきます。

### (3) はちおうじ志民塾運営プロジェクト

八王子市が過去4年間にわたって実施してきた「はちおうじ志民塾」は、その運営を他団体が受託しておりました。ここ数年、その運営支援のため当協議会からもスタッフが協力しておりました。

平成25年度からはこの事業を八王子市から当協議会が受託することに決まりました。当面は、「前期分」の契約となります。

本年度は、前期が7月～9月、後期が10月～12月の開催を予定しております。

「はちおうじ志民塾」の卒塾生は、この4年間で約100名を数え、当協議会や支援センタースタッフとして多数の卒塾生が活躍しております。この運営を当協議会が受託することにより、今後、新たな人材確保や八王子市との連携も深まり、またNPOパワーアップ講座とのコラボレーションも考えられ、大きなメリットになるものと期待されます。協議会としては「はちおうじ志民塾プロジェクト」を立ち上げ、プロジェクトメンバーとアドバイザーを決めて取り組みます。

## 第4号議案 平成25年度収支予算（案）（平成25年4月1日～平成26年3月1日）

1. 平成25年度 八王子市民活動協議会 収支予算書（案）・・・ 別紙（6）
2. 平成25年度 八王子市市民活動支援センター 収支予算書（案）・ 別紙（7）

## 第5号議案 監事選任の件（補充選任）

以上